

アタックグラウト GH-101 の標準施工要領書

テクノスジャパン株式会社

1、グラウト材の標準仕様

製品名	1袋当りの標準配合			1m ³ 当りの標準配合		可使時間 (20℃)
	粉体 (kg)	水 (kg)	練り上がり量 (ℓ)	粉体 (kg)	水 (kg)	
アタックグラウト GH-101	25	4.0	約 13	1875(75袋)	300	約 30分

2、施工手順について

(1)下地コンクリートの表面処理

下地コンクリートの健全な部分まで脆弱層を除去して下さい。

(2)散水处理

下地コンクリートに散水し、湿潤状態にして下さい。但し、浮き水は、除去して下さい。

(3)型枠の設置

- 1) 型枠は、グラウト材が漏れないように設置して下さい。
- 2) グラウト材の注入圧力等により変形しないように堅固に組み立てて下さい。
- 3) 機械基礎等に注入する場合は、型枠にパイプ・ホース等を用いて注入口及び流出口を取り付け、注入口から間隙部へ連続して注入し充填して下さい。
- 4) 1回の施工箇所は、間隙 40～100mm、距離 10m 以下となるように注入・充填箇所をモルタル等で仕切りを行って下さい。

(4)練り混ぜ

練り混ぜは、機械練り(パッドミキサーまたはグラウトミキサー)で行い、2分間以上均一に練り混ぜて下さい。

グラウト材の練り上がり温度は、10℃～35℃の範囲となるように調整して下さい。

練り上がり温度が高くなることが予想される場合は、氷等を用いて練り混ぜ水の温度を下げして下さい。なお、グラウト材を練り混ぜる時には、氷が混入しないようにして下さい。

練り上がり温度が低くなることが予想される場合は、ヒーター等を用いて練り混ぜ水の温度を上げて下さい。なお、練り混ぜる水の温度は 30℃以上にならないようにして下さい。

1)ハドミキの場合

練り混ぜ容器に使用水量を全量投入し、次にミキの羽根を回転させながらグラウト材を徐々に投入し、2分間以上均一に練り混ぜて下さい。

2)グラウトミキの場合

グラウトミキに最初に1回で練り混ぜるグラウト材の数量分の使用水量を全量投入し、次にミキの羽根を回転させながらグラウト材を徐々に投入し、投入完了後2分間以上均一に練り混ぜて下さい。

(5)注入・充填

巻き込みエアが入らないように、静かに注入して下さい。ホッパーまたはポンプを用いて注入・充填して下さい。

なお、ポンプを用いて注入する場合は、スクイズ式またはスネーク式のもルタルポンプを使用して下さい。また、グラウト材の圧送性を良好にするためにホースに水ならびにセメントペーストを通して下さい。次に、セメントペーストがホース先端から完全に排出され、グラウト材が出てきた後、注入口から間隙部へ連続して注入し充填して下さい。注入は、流出口からグラウト材が流れ出るまで空気が残らないように行って下さい。

(6)養生

急激な乾燥・凍結に注意し、適切な方法(養生シート等)で養生して下さい。

3、使用上の注意事項

- 1) 粉体の取扱いは、セメントに準じて行って下さい。
- 2) 破袋または開封後、放置した製品は使用しないで下さい。
- 3) 練り混ぜ水には、上水道水を使用して下さい。
- 4) 製品の保管は、5℃以上、35℃以下の室内として下さい。
- 5) 取扱いに関する詳細な注意事項は、製品安全データシート(MSDS)をご参照下さい。